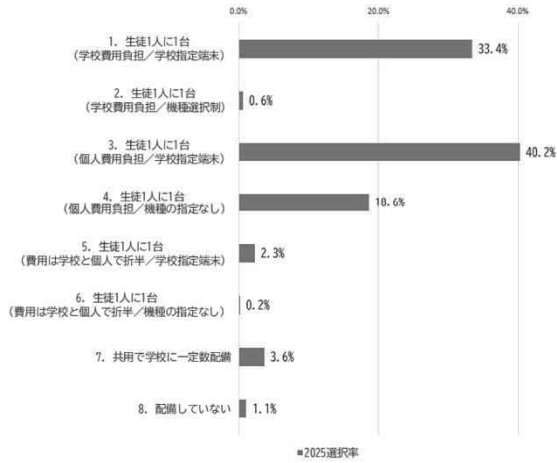
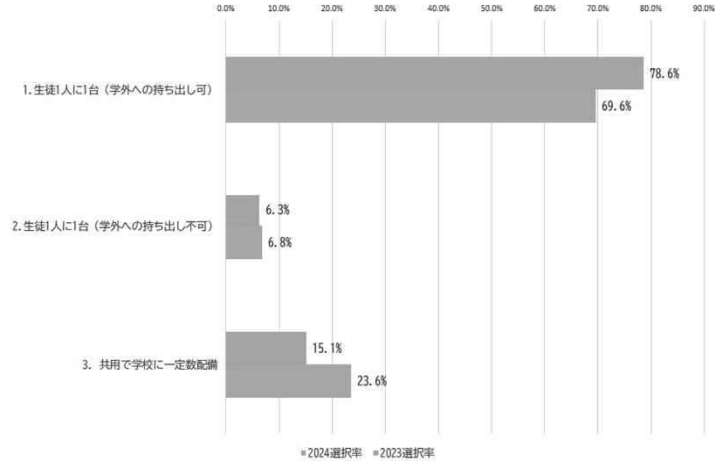


〈図1〉生徒用ICT端末の配備状況



※参考 2024年度・2023年度調査結果



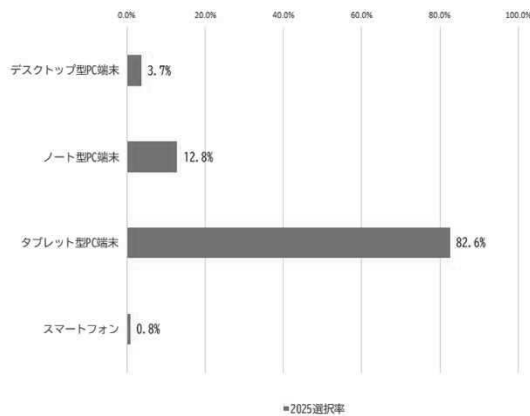
(※今年度の調査より本項目は回答の選択肢を見直しました)

一方で、「個人費用負担/機種指定なし」の回答割合は 18.6%となり、「個人費用負担/学校指定端末」と合わせて、端末費用が家庭の負担となっているケースは 58.9%という結果になりました。

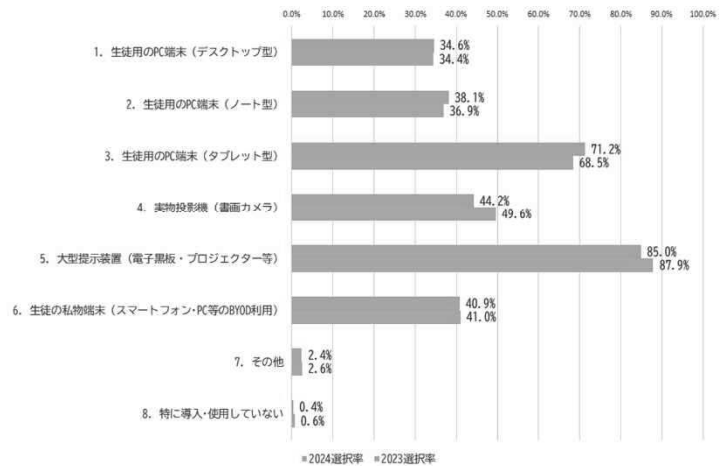
生徒用 ICT 端末のタイプとしては、「タブレット型」が全体の 82.6%と高い支持を得ています。〈図2〉

持ち運びや耐久性などの面が評価されていますが、回答校の中には「大学入学・就職後のことも考慮して PC に操作性の近い端末を選んだ」「プログラミング学習に適したキーボード付きの機種を希望」といった意見も見られました。

〈図2〉導入している生徒用ICT端末の種類



※参考 2024年度・2023年度調査結果



(※今年度の調査より本項目は回答の選択肢を見直しました)

■校内ネットワーク環境・ICT インフラ整備における課題

高等学校におけるネットワーク環境についての調査では、「校内のどこでも無線でのネットワークを使用できる」の回答割合が、2017 年度の調査以降初めて半数を超えました。〈図3〉「通常教室で無線でのネットワークを使用できる」の回答と合わせると、全体の 86.7%の高等学校が、通常の授業で無線ネットワーク通信を介した端末利用が可能な状況です。